

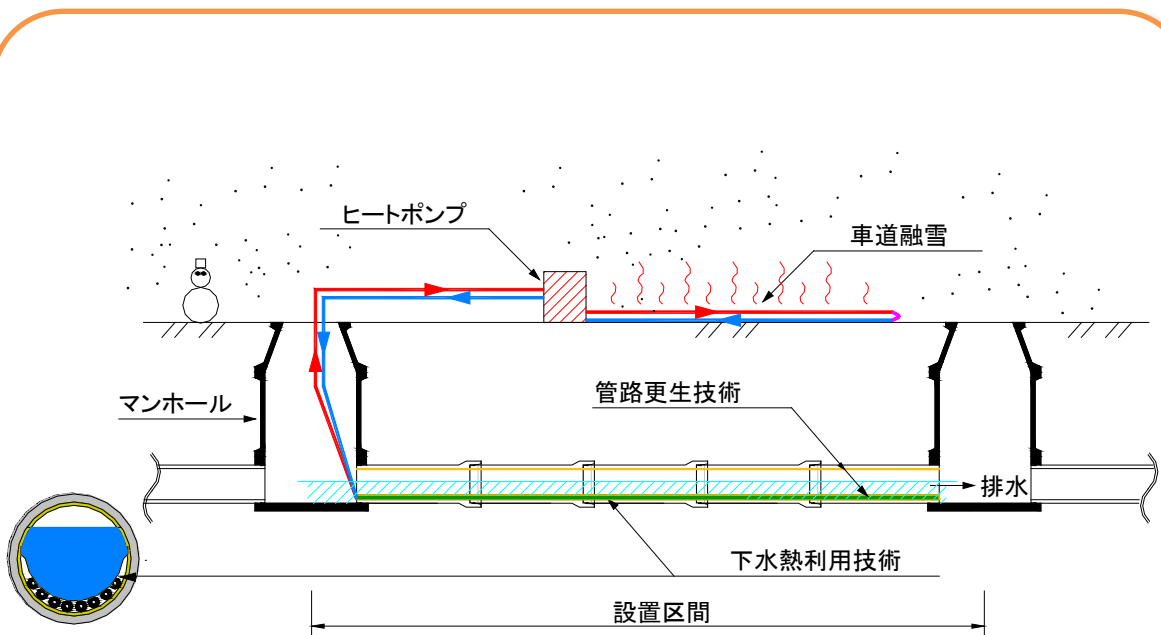
# 下水熱を利用した車道融雪技術の実用化に関する研究

## 事業実施者

東亜グラウト工業(株)、十日町市 共同研究体

## 調査概要

下水熱を利用した車道融雪技術の実用化に向けて、十日町市の既設実証施設を活用し、従来技術(電気融雪式、灯油融雪式)との比較検討を行う。また、中小口径を対象とした管路内設置型の熱回収技術を用い、実運用を通じた技術的課題の検討や下水熱による車道融雪の有効性を確認する。



## ○提案技術の革新性等の特徴

- (1) 実用化が求められる中小口径の小さい下水道管路からでも採熱を可能とし、融雪を行うことができる。
- (2) 採熱管が管底部に設置されているため、採熱性が高くなる。そのため、従来技術よりもエネルギー使用量が少なくランニングコストを抑えることができる。
- (3) 既存の下水道管を利用して熱を取り出し、同時に老朽化した管路を更生できる。(中小口径管路更生 + 採熱技術)
- (4) 管内の外観状況は、通常の管路更生と同じであるため、流下障害が無い。また、取付管の穿孔も可能。